

みんなで一歩 ～チャレンジ・つながり～

令和8年(2026年)9月28日
豊中市立桜井谷小学校
学校だより No.10
校長 渡部 潤也

人権講演会とアイマスク体験



9月16日(水)全校児童を対象に人権講演会を行いました。

講師の先生は、鍛冶克哉(かじかつや)さんです。生まれつき体が不自由な中、障がい者理解のために、海外にも視察に行きながら、学校や市民への講演を行っています。「差別のないやさしいまちづくりのためには、やさしいクラスをつくってほしい」と言われていたのが印象的でした。

また、一人一人の違いを認め合い、困っている人に自然に手を差し伸べられる環境づくりが大切であることを学びました。児童にとっても、人権について考える貴重な機会となりました。

子どもたちからは「鍛冶さんはどうやってお風呂に入るのですか?」「行ってみたい国はありますか?」「障がいがない人をうらやましいと思ったことはありますか?」などの質問が出ました。



<4年生アイマスク体験>

4年生では、市立障害福祉センターひまわりの方にご協力いただき、アイマスク体験を行いました。児童はアイマスクを着用し、見えない状態で歩いたり、階段を利用したりする活動を通して、視覚に障害のある方の困難さや不安な気持ちについて考えました。また、介助する側とされる側の両方を体験し、相手に安心してもらうためには、声かけや手引きの方法が大切であることを学びました。今回の学習を通して、相手の立場に立って考え、誰もが安心して暮らせる社会づくりについて理解を深めることができました。



<保護者の皆さまへお願い>

近年、スマートフォンやSNSは子どもたちにとって身近なものとなっています。一方で、夜遅くまで動画を見ていて睡眠不足になったり、LINEなどのSNSでのやり取りが思わぬトラブルにつながることもあります。スマートフォンやSNSの使用はご家庭の責任において慎重に判断いただき、使用させる場合はフィルタリングや年齢設定を行ったり、利用時間やルールについて話し合い、「夜は決まった時間に端末を手放す」などの約束をつくるなど、子どもたちが安心・安全に利用できるようご協力をお願いいたします。